



## 新規および変更情報

日付	変更内容
2020年6月16日	「 <a href="#">ノードの削除</a> 」が更新され、Control Hub UIの変更が反映されました。
2020年6月4日	「 <a href="#">HDSホストの構成ISOの作成</a> 」が更新され、ユーザが設定する可能性がある詳細設定の変更が反映されました。
2020年5月29日	「 <a href="#">HDSホストの構成ISOの作成</a> 」が更新され、SQL Server データベースで TLS も使用可能であることが記載されました。また、UIの変更が反映され、その他いくつかの点が明確化されました。
2020年5月5日	「 <a href="#">仮想ホストの要件</a> 」が更新され、ESXi 6.5の新しい要件が記載されました。
2020年4月21日	「 <a href="#">外部接続の要件</a> 」が更新され、新しい南北アメリカ CI ホストについて記載されました。
2020年4月1日	「 <a href="#">外部接続の要件</a> 」が更新され、地域 CI ホストに関する情報が記載されました。
2020年2月20日	「 <a href="#">HDSホストの構成ISOの作成</a> 」が更新され、HDSセットアップツールの新しいオプションの [詳細設定 (Advanced Settings)] 画面に関する情報が記載されました。
2020年2月4日	「 <a href="#">プロキシサーバの要件</a> 」が更新されました。
2019年12月16日	ブロックされた外部 DNS 解決モードが動作するための要件を「 <a href="#">プロキシサーバの要件</a> 」に明示しました。

日付	変更内容
2019年11月19日	<p>次のセクションで、ブロックされた外部 DNS 解決モードに関する情報を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">プロキシサポート</a></li> <li>• <a href="#">プロキシ統合のための HDS ノードの構成</a></li> <li>• <a href="#">ブロックされた外部 DNS 解決モードをオフにする</a></li> </ul>
2019年11月8日	<p>ノードのネットワーク設定は、後ではなく OVA を導入するときに設定できるようになりました。</p> <p>それに伴い、次の項を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Hybrid Data Security 導入タスク フロー</a></li> <li>• <a href="#">HDS ホスト OVA のインストール</a></li> <li>• <a href="#">Hybrid Data Security VM のセットアップ</a></li> </ul> <p>(注) OVA 導入時にネットワーク設定を設定するためのオプションは、ESXi 6.5 を使用してテストされています。このオプションは、以前のバージョンでは使用できない場合があります。</p>
2019年9月6日	<p><a href="#">データベース サーバの要件</a>に SQL Server 標準が追加されました。</p>
2019年8月29日	<p>WebSocket トラフィックを無視して適切に動作するように Squid プロキシを構成する方法に関するガイドラインを記載した付録 <a href="#">Hybrid Data Security の Squid プロキシの構成</a> を追加しました。</p>
2019年8月20日	<p>Webex クラウドとの Hybrid Data Security ノード通信に対するプロキシサポートについて説明する項を追加および更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">プロキシサポート</a></li> <li>• <a href="#">プロキシサーバの要件</a></li> <li>• <a href="#">プロキシ統合のための HDS ノードの構成</a></li> </ul> <p>既存の導入環境のプロキシサポートの内容だけを確認するには、ヘルプ記事「<a href="#">ハイブリッドデータセキュリティと Webex ビデオメッシュのプロキシサポート</a>」を参照してください。</p>
2019年6月13日	<p>「<a href="#">トライアルから実稼働への移行タスクフロー</a>」を更新して、組織がディレクトリ同期を使用している場合は、トライアルを開始する前に HdsTrialGroup グループ オブジェクトを同期する必要があるという注記を追加しました。</p>

日付	変更内容
2019年3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 要件と前提条件を「<a href="#">環境の準備</a>」の章に移動しました。</li> <li>• 「<a href="#">Hybrid Data Security クラスターのセットアップ</a>」の章に <a href="#">Hybrid Data Security 導入タスク フロー</a>の概要を追加しました。        (次の章の手順に従って) トライアルを開始するまでは、ノードでサービスがアクティブ化されていないことを通知するアラームが生成されるという注記を追加しました。</li> <li>• 「<a href="#">トライアルの実施と実稼働への移行</a>」の章に <a href="#">トライアルから実稼働への移行タスク フロー</a>を追加しました。</li> </ul>
2019年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OVA が作成するディスクのサイズを反映して、Hybrid Data Security ノードにする仮想ホストを準備する際に確保するローカルハードディスクの容量を 50 GB から 20 GB に修正しました。</li> </ul>
2019年2月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Hybrid Data Security ノードが、PostgreSQL データベース サーバとの暗号化された接続と、TLS 対応 Syslog サーバへの暗号化されたロギング接続をサポートするようになりました。「<a href="#">HDS ホストの構成 ISO の作成</a>」を更新して手順を追加しました。</li> <li>• 「Hybrid Data Security ノード VM のインターネット接続要件」の表から、宛先 URL を削除しました。現在この表は、「<a href="#">Webex Teams サービスのネットワーク要件</a>」の表「Webex Teams ハイブリッドサービスの追加 URL」にリストされている URL を参照するようになっています。</li> </ul>
2019年1月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Hybrid Data Security が、データベースとして Microsoft SQL Server をサポートするようになりました。SQL Server Always On (Always On フェールオーバー クラスターと Always On 可用性グループ) は、Hybrid Data Security で使用される JDBC ドライバでサポートされています。SQL Server を使用した導入に関する内容を追加しました。         (注) Microsoft SQL Server サポートの対象は、Hybrid Data Security の新しい導入環境のみです。現在、既存の導入環境では PostgreSQL から Microsoft SQL Server へのデータの移行はサポートされていません。</li> </ul>

日付	変更内容
2018年11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「<a href="#">HDSホストの構成ISOの作成</a>」および「<a href="#">ノード構成の変更</a>」に、<code>docker rmi ciscosparkhds/hds-setup:stable</code>を使用して既存のDocker HDS インスタンスをクリーンアップするための準備手順を追加しました。</li> <li>• 「<a href="#">HDSホストの構成ISOの作成</a>」のキーアクセスレベルのステップを、インターフェイスに合わせて更新しました。</li> </ul>
2018年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「<a href="#">Hybrid Data Securityの前提条件への対応</a>」のファイアウォール接続情報を、ノードの要件とISO構成マシンの要件に分けました。</li> </ul>
2018年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「<a href="#">Hybrid Data Securityの前提条件への対応</a>」に、ポート22（SSHアクセス）と、NATおよびファイアウォール接続に関する情報を追加しました。</li> </ul>
2018年5月21日	<p>Cisco Sparkのリブランディングを反映して、次のように用語を変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Spark Hybrid Data Security は Cisco Webex Hybrid Data Security に変更されています。</li> <li>• Cisco Spark アプリは Cisco Webex Teams アプリに変更されています。</li> <li>• Cisco Collaboration Cloud は Cisco Webex クラウドに変更されています。</li> </ul>
2018年4月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「<a href="#">ディザスタリカバリのためのスタンバイデータセンター</a>」を追加しました。</li> <li>• 「<a href="#">Hybrid Data Securityの前提条件への対応</a>」を更新して、バックアップ環境は別のデータセンター内に配置する必要があることを明記しました。</li> <li>• 「<a href="#">ディザスタリカバリ後のクラスタの再構築</a>」が更新されました。</li> </ul>
2018年2月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「<a href="#">HDSホストの構成ISOの作成</a>」および「<a href="#">ノード構成の変更</a>」に、サービスアカウントパスワードの9ヶ月の有効期間に関する情報と、HDSセットアップツールを使用してサービスアカウントパスワードをリセットする手順を追加しました。</li> </ul>

日付	変更内容
2018年2月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>表「<a href="#">X.509 証明書の要件</a>」に、証明書をワイルドカード証明書にすることはできないこと、KMSはx.509v3 SANフィールドで定義されているドメインではなく、CNドメインを使用することを明記しました。</li></ul>
2018年1月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>付録「<a href="#">HDS ノードとクラウド間のトラフィック</a>」を追加しました。</li><li>「<a href="#">Hybrid Data Security に関する既知の問題</a>」から解決済みの問題を削除しました。</li><li>「<a href="#">Hybrid Data Security の前提条件への対応</a>」のHDSノードのTCP接続要件のリストで、index.docker.ioを*.docker.ioに変更し、*.cloudfront.netを追加しました。</li><li>「<a href="#">HDS ホストの構成 ISO の作成</a>」を更新して、データベースホストとSyslogdサーバをDNSで解決できない場合、IPアドレスを使用して構成するよう説明しました。</li></ul>
2017年11月2日	<ul style="list-style-type: none"><li>HdsTrialGroupのディレクトリ同期について明確にしました。</li><li>VMノードにマウントするためのISO構成ファイルのアップロード手順を修正しました。</li></ul>
2017年8月18日	初版

